

令和3年度第11回県政インターネットモニターアンケート（オリンピック・パラリンピック推進課、こども家庭課、河川企画課）

※表の中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

回答者数：657人（回答率：85.7%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	297	45.2%
	女性	359	54.6%
	その他	1	0.2%
年代	10代	9	1.4%
	20代	24	3.7%
	30代	87	13.2%
	40代	151	23.0%
	50代	158	24.0%
	60代	114	17.4%
	70代	91	13.9%
	80代	23	3.5%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	10	1.5%
	東部	206	31.4%
	中部	238	36.2%
	西部	202	30.7%
	県外	1	0.2%
職業	自営業	39	5.9%
	会社員	220	33.5%
	公務員	13	2.0%
	パート・内職従事者	125	19.0%
	学生	17	2.6%
	無職	214	32.6%
	その他	29	4.4%

○東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技開催に関するアンケート

問1（回答数1） n=657			
	人	%	
1 知っている	637	97.0%	
2 知らない	20	3.0%	

問2（回答数1） n=657			
	人	%	
1 開催の判断は支持できる	230	35.0%	
2 オリンピックについても無観客開催にして開催すればよかった	166	25.3%	
3 来年以降に延期して開催すればよかった	110	16.7%	
4 延期せずに昨年やればよかった	13	2.0%	
5 中止すべきだった	122	18.6%	
6 その他	16	2.4%	

問3（回答数1） n=657			
	人	%	
1 ある	237	36.1%	
2 ない	420	63.9%	

問4（複数回答可） n=657			
	人	%	
1 チケットが当選したので会場で観戦した	7	1.1%	
2 チケットは当選したが、無観客となったので自宅等で観戦した	24	3.7%	
3 チケットは当選したが、新型コロナが不安なので自宅等で観戦した	6	0.9%	
4 ライブサイトやパブリックビューイング、スポーツバーなど大型スクリーンを使った会場で無料観戦した	1	0.2%	
5 テレビやパソコン等、自宅で観戦した	470	71.5%	
6 関心がなく、特に観戦しなかった	154	23.4%	
7 その他	16	2.4%	

問5（回答数1） n=657			
	人	%	
1 ほとんど知っている	4	0.6%	
2 何人かは知っている	222	33.8%	
3 全く知らない	431	65.6%	

問5-2（回答数1） n=657			
	人	%	
1 ほとんど知っている	16	2.4%	
2 何人かは知っている	371	56.5%	
3 全く知らない	270	41.1%	

問6（複数回答可） n=657			
	人	%	
1 セレブレーション会場の観覧募集に応募し、会場で見た	9	1.4%	
2 自宅や職場の近くで見た	74	11.3%	
3 NHKのライブストリーミングで見た	40	6.1%	
4 テレビやインターネットのニュースで見た	319	48.6%	
5 見なかった	229	34.9%	
6 その他	28	4.3%	

問7（回答数1） n=657			
	人	%	
1 行った	3	0.5%	
2 行きたかったが、新型コロナウイルスの感染が心配でやめた	30	4.6%	
3 行きたかったが、行く予定の会場が中止になった	11	1.7%	
4 行かなかった	604	91.9%	
5 その他	9	1.4%	

問8（複数回答可） n=657			
	人	%	
1 スタッフ、ボランティアとして関わった	6	0.9%	
2 合宿中に見学をした	4	0.6%	
3 オンライン等で交流を行った	0	0.0%	
4 事前キャンプが行われることは知っていたが、関わらなかった	311	47.3%	
5 関わりたかったが、自分の住んでいる市町でキャンプが行われなかった（開催予定が新型コロナの影響でキャンセルになった場合も含む。）	46	7.0%	
6 事前キャンプがあることを知らなかった	279	42.5%	
7 その他	17	2.6%	

問9（複数回答可） n=657			
	人	%	
1 障がい者や外国人との「共生社会の実現」	220	33.5%	
2 観光産業の振興	201	30.6%	
3 外国人観光客との交流や外国人のSNS等による静岡県の魅力の世界への発信	146	22.2%	
4 県内サイクルスポーツの盛り上がり、競技力の向上	217	33.0%	
5 パラスポーツの普及	203	30.9%	
6 おもてなし文化の創出	100	15.2%	
7 ボランティアの育成	91	13.9%	
8 特に期待はしていない	169	25.7%	
9 その他	14	2.1%	

問10（回答数1） n=657			
	人	%	
1 体験したことがある	45	6.8%	
2 体験したことはないが、興味があるので機会があったら体験したいと思う	322	49.0%	
3 興味がない	277	42.2%	
4 その他	13	2.0%	

問11（複数回答可） n=657			
	人	%	
1 テレビ・ラジオによる広報	408	62.1%	
2 インターネット（ホームページ等）	240	36.5%	
3 SNS（Twitter、Facebook等）の活用	229	34.9%	
4 街中へのポスター、横断幕、バナー等の掲示	133	20.2%	
5 パラスポーツ体験イベントの開催	262	39.9%	
6 自転車競技体験イベントの開催	199	30.3%	
7 わからない	68	10.4%	
8 その他	16	2.4%	

問12（複数回答可） n=657			
	人	%	
1 大会を見て、元気や勇気をもたらした（前向きな気持ちになれた）または、日常生活（部活・スポーツ・仕事）を自分も頑張ろうと思えた	320	48.7%	
2 自転車競技に興味を持った	76	11.6%	
3 パラスポーツに興味を持った	164	25.0%	
4 スポーツイベント等（パラスポーツ体験会など）に参加したくなった	62	9.4%	
5 ボランティアとして活動したくなった	47	7.2%	
6 地元開催の合宿などで障害者や外国人との「共生社会の実現」に関わりたくなった	34	5.2%	
7 開催すべきではなかった	106	16.1%	
8 特に何も思わなかった	121	18.4%	
9 その他	35	5.3%	

○「ヤングケアラー」に関する意識調査

問1（回答数1）	n=657	人	%
1 聞いたことがあり内容を知っている		367	55.9%
2 聞いたことがあるが内容は知らない		101	15.4%
3 聞いたことがない		189	28.8%

問2（回答数1）	n=657	人	%
1 ある		73	11.1%
2 ない		584	88.9%

問3（複数回答可）	n=657	人	%
1 食事の世話（買い物、食事を作る、食べる介助、後片付けなど）		486	74.0%
2 家の中の家事（掃除、洗濯、アイロンがけ等、こまごまとした家事を含む）		458	69.7%
3 身の回りの世話（衣服の着脱介助、移動介助、服薬管理など）		454	69.1%
4 トイレや入浴の介助		354	53.9%
5 見守り（直接的な介助ではないが、要ケア者の心身の状態見守り）		260	39.6%
6 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）		224	34.1%
7 きょうだいのケア（保育所等への送迎や見守りなど）		372	56.6%
8 通院の付き添い		286	43.5%
9 通訳（コミュニケーションに困難があり通訳が必要な場合）		146	22.2%
10 金銭管理		171	26.0%
11 その他		10	1.5%
12 わからない		91	13.9%

問4（複数回答可）	n=657	人	%
1 「ヤングケアラー」という言葉が社会で広く認識されるようになる		295	44.9%
2 ケアを担っている子どもたち本人が自分の状況を認識して身を守るよう、教育や相談が行われる		391	59.5%
3 子どもの家族が「ヤングケアラー」という認識を持つようになる		194	29.5%
4 関係者がヤングケアラーに気付きやすくなるような研修体制が整備される		160	24.4%
5 ケアを担っている子どもたちが相談しやすい環境ができる		359	54.6%
6 ケアを担っている子どもとその家族が適切なサービスを受けられるようにする		358	54.5%
7 ヤングケアラーの実態が明らかになる		242	36.8%
8 ヤングケアラーへの支援を行える専門職が育成される		207	31.5%
9 福祉と教育が連携した支援体制が整備される		248	37.7%
10 福祉と医療・保健センターが連携した支援体制が整備される		225	34.2%
11 福祉と外国人対応課が連携した支援体制が整備される		78	11.9%
12 ヤングケアラーを支援する団体が増える		170	25.9%
13 ヤングケアラー同士が集まり情報共有などができる場が増える		115	17.5%
14 その他		10	1.5%
15 わからない		66	10.0%

○身近な河川の「川づくり」に関する意識調査

問1（複数回答可）	n=657	人	%
1 洪水や津波等に対して、安全で安心できる施設整備を進めてほしい		509	77.5%
2 水道から安全でおいしい水が飲めるようにしてほしい		325	49.5%
3 汚れた川や湖にきれいな水を取り戻してほしい		329	50.1%
4 水不足をなくしてほしい		134	20.4%
5 水辺に近づくことのできる親水空間をつくってほしい		186	28.3%
6 河川敷にウォーキングやスポーツのできる公園をつくってほしい		169	25.7%
7 河川敷でキャンプやバーベキューができる施設をつくってほしい		119	18.1%
8 ボートやヨットで遊べる場所を提供してほしい		59	9.0%
9 魚や鳥、植物が生息する自然豊かな川にしてほしい		317	48.2%
10 美しい川の風景を後世に残してほしい		293	44.6%
11 ゴミの不法投棄や防犯等のために堤防除草を行ってほしい		286	43.5%
12 身近な川の歴史・風土・文化について教えてほしい		104	15.8%
13 水防団や水防訓練を強化してほしい		52	7.9%
14 特にない		7	1.1%
15 わからない		6	0.9%
16 その他		14	2.1%

問2（回答数1）	n=657	人	%
1 評価できるし、今後も継続して実施してほしい		328	49.9%
2 評価できるが、もっと努力や工夫をしてほしい		209	31.8%
3 評価できない		18	2.7%
4 わからない		102	15.5%

問2-2（回答数1）	n=227	人	%
1 植生が回復していないから		30	13.2%
2 魚などの生息が増えていないから		53	23.3%
3 堤防や護岸に草が増え、除草が大変になったから		64	28.2%
4 隣接箇所でも異なった形式の護岸が連なり、統一性がないから		36	15.9%
5 わからない		12	5.3%
6 その他		32	14.1%

問3（回答数1）	n=657	人	%
1 今後も継続してほしい		398	60.6%
2 もっと地域の意見を取り入れてほしい		136	20.7%
3 地域の意見を取り入れているとは思えない		47	7.2%
4 地域の意見を取り入れる必要はない		6	0.9%
5 わからない		58	8.8%
6 その他		12	1.8%

問4（複数回答可）	n=657	人	%
1 アンケートなどによる地域住民個人々々に対する意見徴収		442	67.3%
2 自治会やNPOなどの団体に対する意見徴収		296	45.1%
3 ワークショップなどによる住民代表に対する意見徴収		180	27.4%
4 関係市町に対する意見徴収		226	34.4%
5 学識者・有識者に対する意見徴収		208	31.7%
6 地域の意見は取り入れる必要はない		2	0.3%
7 わからない		36	5.5%
8 その他		22	3.3%

問5（回答数1）	n=657	人	%
1 返信用封筒を同封した書面によるアンケート調査		171	26.0%
2 インターネットを介したホームページによるアンケート調査		315	47.9%
3 ショッピングモール等、街頭でのアンケート調査		46	7.0%
4 SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）を活用したアンケート調査		76	11.6%
5 特にない		11	1.7%
6 わからない		25	3.8%
7 その他		13	2.0%

問6（回答数1）	n=657	人	%
1 積極的に参加したい		73	11.1%
2 どちらかといえば参加したい		327	49.8%
3 どちらかといえば参加したくない		80	12.2%
4 参加したくない		35	5.3%
5 参加できない		56	8.5%
6 わからない		86	13.1%

問7（回答数1）	n=657	人	%
1 理解できるし、協力もしたい		449	68.3%
2 理解できるが、協力したくない		101	15.4%
3 理解できないが、協力はしたい		13	2.0%
4 理解できないし、協力もしたくない		4	0.6%
5 わからない		90	13.7%

問7-2（回答数1）	n=567	人	%
1 地域が主体的に「川づくり」を行う必要があるから		91	16.0%
2 地域と行政が連携して「川づくり」を行う必要があるから		411	72.5%
3 行政が主体的に「川づくり」を行う必要があるから		52	9.2%
4 その他		13	2.3%

問8（回答数1）	n=657	人	%
1 制度があることを知っており、できるだけ活用したい		37	5.6%
2 制度があることは知っているが、活用する予定はない		43	6.5%
3 制度があることは知らないが、できるだけ活用したい		283	43.1%
4 制度があることは知らないし、活用する予定もない		294	44.7%

問9（回答数3つまで）	n=657	人	%
1 行政主体による清掃・除草等の維持管理の実施		403	61.3%
2 美化活動への住民参加・協働		275	41.9%
3 美化活動への住民参加・協働への支援（資金、機材、情報の提供）		264	40.2%
4 川を汚さない生活スタイルの実践（汚れた水やごみを出さない等）		338	51.4%
5 行政と市民のコミュニケーションの推進		133	20.2%
6 チラシ配布や看板設置による周知		41	6.2%
7 SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）による広報活動		37	5.6%
8 その他		12	1.8%
9 特にない		3	0.5%
10 わからない		10	1.5%

問10（回答数1）	n=657	人	%
1 どのような動植物が生息・生育しているか興味があり、情報が欲しい		386	58.8%
2 どのような動植物が生息・生育しているか興味はあるが、特に情報は必要ない		96	14.6%
3 どのような動植物が生息・生育しているか興味はないが、情報は欲しい		96	14.6%
4 どのような動植物が生息・生育しているか興味はなく、特に情報も必要ない		38	5.8%
5 わからない		41	6.2%

問11（複数回答可）	n=657	人	%
1 きれいな水（水質）		519	79.0%
2 川らしい流れ（水量）		260	39.6%
3 自然の保全（さまざまな動植物）		439	66.8%
4 川らしい眺め（景観）		264	40.2%
5 周辺環境との調和		243	37.0%
6 地域の歴史・文化への配慮		124	18.9%
7 その他		13	2.0%
8 特にない		6	0.9%
9 わからない		9	1.4%

問12（回答数1）	n=657	人	%
1 堤防や護岸の整備、河床掘削など、河川改修の更なる推進		250	38.1%
2 川につながる水路などの更なる整備		65	9.9%
3 ポンプ場など、排水施設の整備		22	3.3%
4 川の水を一時的にためる施設の整備（遊水地・調整池など）		46	7.0%
5 川の維持管理の徹底（川の中の土砂や繁茂した植物の除去）		133	20.2%
6 土砂災害対策の更なる推進		82	12.5%
7 現状のままで良い（現在でも十分に安全だと思う）		20	3.0%
8 その他		9	1.4%
9 わからない		30	4.6%

問13（回答数1）	n = 657	人	%
1 非常に重要であり、今後も充実すべきである	396	60.3%	
2 重要な対策ではあるが、ハード対策を優先すべきである	126	19.2%	
3それほど重要とは思えないので、ハード対策を優先すべきである	12	1.8%	
4 ソフト対策とハード対策の両方をバランスよく実施すべきである	101	15.4%	
5 わからない	22	3.3%	

問14（複数回答可）	n = 657	人	%
1 洪水ハザードマップの作成・公表	487	74.1%	
2 インターネットを活用した雨量・水位情報の提供	408	62.1%	
3 市町による警戒レベル等の指示	346	52.7%	
4 水防団・消防団等の組織の強化	102	15.5%	
5 水防ボランティアの育成	74	11.3%	
6 防災訓練等の実施・高齢者や障害者などの要配慮者への支援体制の強化	198	30.1%	
7 土地利用規制、誘導、移転促進	138	21.0%	
8 排水ポンプ車など氾濫水の排水強化	110	16.7%	
9 民間の調整池等の活用	84	12.8%	
10 特に必要はない	1	0.2%	
11 わからない	17	2.6%	
12 その他	9	1.4%	

問15（回答数1）	n = 657	人	%
1 各戸貯留・浸透という考え方に興味・関心がある	410	62.4%	
2 各戸貯留・浸透という考え方に興味・関心はない	73	11.1%	
3 わからない	174	26.5%	

問15-2（回答数1）	n = 483	人	%
1 活用したい	69	14.3%	
2 負担額が少なければ活用したい	284	58.8%	
3 負担額があれば活用しない	73	15.1%	
4 負担額の有無にかかわらず活用しない	38	7.9%	
5 その他	19	3.9%	

問16（回答数1）	n = 657	人	%
1 知っていて、活用したこともある	121	18.4%	
2 知っているが、活用したことはない	126	19.2%	
3 知らない	410	62.4%	

問16-2（回答数1）	n = 121	人	%
1 過去又は現在の降雨状況の把握	67	55.4%	
2 天気予報の把握	17	14.0%	
3 台風の進路情報の把握	18	14.9%	
4 注意報、警報の発令状況の把握	16	13.2%	
5 その他	3	2.5%	

問17（回答数1）	n = 657	人	%
1 知っているし、洪水ハザードマップの意味も理解している	398	60.6%	
2 知っているが、洪水ハザードマップの意味はあまり理解していない	157	23.9%	
3 知らない	102	15.5%	

問18（複数回答可）	n = 657	人	%
1 家族同士の安否確認の方法を決めている	209	31.8%	
2 水害発生時の避難場所や避難ルートを決めている	154	23.4%	
3 土のうや止水板等の水害対策グッズを用意している	34	5.2%	
4 宅地周囲などに水害防止対策を施している	25	3.8%	
5 非常食や医療品などを準備している	352	53.6%	
6 家財や貴重品の置き場所に注意している	122	18.6%	
7 家屋などに保険をかけている	197	30.0%	
8 安全な場所への移転を考えている	24	3.7%	
9 地域の防災訓練や勉強会等に積極的に参加している	83	12.6%	
10 自主防災組織に参加している	61	9.3%	
11 近所や地域内の高齢者や乳幼児など、災害時に配慮が必要な人を理解している	29	4.4%	
12 マイタイムライン（自分自身の防災行動計画）を作成している	9	1.4%	
13 特になし	104	15.8%	
14 その他	14	2.1%	

問19（回答数1）	n = 657	人	%
1 参加したい	130	19.8%	
2 どちらかといえば参加したい	334	50.8%	
3 どちらかといえば参加したくない	63	9.6%	
4 参加しない	50	7.6%	
5 わからない	80	12.2%	

問19-2（回答数1）	n = 113	人	%
1 自宅が浸水の想定される区域外にあるため	51	45.1%	
2 これまでに堤防が壊れるなどの浸水被害を被った経験がないため	15	13.3%	
3 自ら緊急時の避難場所、避難経路をすでに決めているため	13	11.5%	
4 わからない	23	20.4%	
5 その他	11	9.7%	

問20（回答数1）	n = 657	人	%
1 知っており、視聴したことがある	14	2.1%	
2 知っているが、視聴したことはない	53	8.1%	
3 知らなかった	590	89.8%	

問20-2（回答数1）	n = 67	人	%
1 河川砂防局ホームページ	21	31.3%	
2 YouTubeの静岡どぼくらぶチャンネルから	7	10.4%	
3 YouTube静岡県の公式チャンネルから	22	32.8%	
4 静岡県職員から紹介された	1	1.5%	
5 「防災講座」等、関係のある言葉をインターネットやYouTubeで検索して知った	12	17.9%	
6 その他	4	6.0%	